

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	間質性肺炎における MNA-SF の臨床的意義の検討
研究責任者	聖隷浜松病院 呼吸器内科 橋本 大
研究実施体制	研究責任施設 聖隷浜松病院 呼吸器内科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 から 2030 年 7 月
対象者	2022 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日に聖隷浜松病院呼吸器内科に入院した患者さんで、間質性肺炎の診断を受けた方
研究の意義・目的	間質性肺炎の患者さんにおいて、適切に栄養評価を行い栄養障害の改善を目指すことが、予後の改善に繋がると報告されています。現在 GNRI や NLR といった栄養指標が使用されていますが、いずれも採血データが必要です。そこで、本研究では採血データが不要でより簡便な MNA-SF1 に注目し、間質性肺炎患者さんでの MNA-SF と予後の関係や臨床的意義に関して明らかにすることを目的とします。
研究の方法	研究デザイン 後方視的観察研究 方法 2022 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日に聖隷浜松病院呼吸器内科に入院した患者さんで、間質性肺炎の診断を受けた方について、MNA-SF と予後の関係について後方視的に評価します。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 呼吸器内科 (氏名) 松田 光生 TEL:053-474-2222(代表) 呼吸器内科外来 9:00～17:00 平日